

名古屋大学における6機関合同職域接種 (大学拠点接種) について

東海国立大学機構総務部長
兼・名古屋大学管理部長

宮川 勉



6月初旬	愛知県から住民向けの「集団接種会場」として大学施設を貸してもらいたいとの打診 ➤前向きに検討
6月中旬	県による自治体間調整に時間がかかり「集団接種会場」としての指定が先送り ➤県とも協議し「大学拠点接種」に方向転換。近隣大学（中京大学、南山大学、名城大学、名古屋工業大学、豊田工業高等専門学校）に参加の意向を確認、合意
6月16日	厚生労働省へ申請
6月24日	名古屋大学における「大学拠点接種」についてプレスリリース 厚生労働省から許可
7月8日	接種会場（豊田講堂）において公開リハーサル
7月12日	接種開始

学生ファースト

医学部を有する国立大学としてワクチン接種への貢献の在り方を模索していたが、近隣の大学も含めた学生へのワクチン接種を加速することで、地域の感染拡大防止につながるとともに、学生が一日も早く安心してキャンパスライフをおくれるようになることが期待できると考え、“学生ファースト”の大学拠点接種を行うこととした。

「総長からのメッセージ」より抜粋（2021年6月25日本学HP掲載）

『多くの自治体が接種対象を高齢者から順に行っていく状況下、このままでは感染率の高い学生層への接種が大幅に遅れるとの危機感がありましたので、“**学生ファースト**”の考え方を取ることとする一方、教職員への接種も積極的に行っていきたいと思えます。』

各大学・機関の所在地

大学名	本部所在地	学生数
名古屋大学	名古屋市千種区不老町	16千人
中京大学	名古屋市昭和区八事本町101-2	12千人
南山大学	名古屋市昭和区山里町18	9千人
名城大学	名古屋市天白区塩釜口1-501	15千人
名古屋工業大学	名古屋市昭和区御器所町	6千人
豊田工業高等専門学校	豊田市栄生町2-1	1千人

▼近隣大学との位置関係



接種業務詳細

接種期間	1回目接種：7月12日～8月8日 2回目接種：8月9日～9月9日 (8月13日～16日以外は土日祝も接種を実施)
接種時間	12時～18時(6時間) (スタートアップの一定期間は13時～18時(5時間))
場所	名古屋大学豊田講堂・シンポジオン
対象	名古屋大学、中京大学、南山大学、名城大学、名古屋工業大学、豊田工業高等専門学校 ¹ の学生・教職員等(正規、非正規、身分、雇用形態の別は問わない)
接種希望者数概算	約40,000人(各大学からの希望者数の合算)
ワクチン種類	武田/モデルナ社製
ワクチン数	80,000回分
接種体制	接種所を5レーン設置。1時間で200～300人の接種を想定。
費用負担	接種費用総額を各大学の被接種者数で按分し、補助金相当額(各大学の接種券回収数を反映)を控除
接種会場運営体制	<ul style="list-style-type: none">・名古屋大学医療従事者 → 医師：5名/歯科医師または看護師：9名/薬剤師：1名・支援医師 → 各大学の学校医等・派遣医療従事者 → 看護師：10名程度・各大学事務職員 → 名古屋大学：平日2名～4名、休日3名～5名 その他の大学：1～3名・派遣スタッフ → 事務スタッフ：20名程度/警備員：2名 ※その他、民間救急車を手配

(参考) 名大病院の医療支援

1. 新型コロナ患者の入院医療提供

- ・重症15床、中等症17床まで用意
- ・178名の入院患者を受け入れ（8月5日現在）

2. 県立愛知病院（岡崎市）への医師派遣

- ・おもに中等症及び軽症の高齢者対象の新型コロナ専門病院
- ・派遣予定期間：2020年10月～2022年3月
- ・派遣人数：医師2名（常勤1・応援1）

3. ワクチン接種（職域接種以外のもの）

(1) 名大病院での医療従事者向け接種

- ・名大病院医療従事者4千人のほか周辺医療機関1.5千人に接種

(2) 県営名古屋空港（大規模接種会場）への派遣

派遣期間：2021年6月～9月

派遣人数：問診医師2名



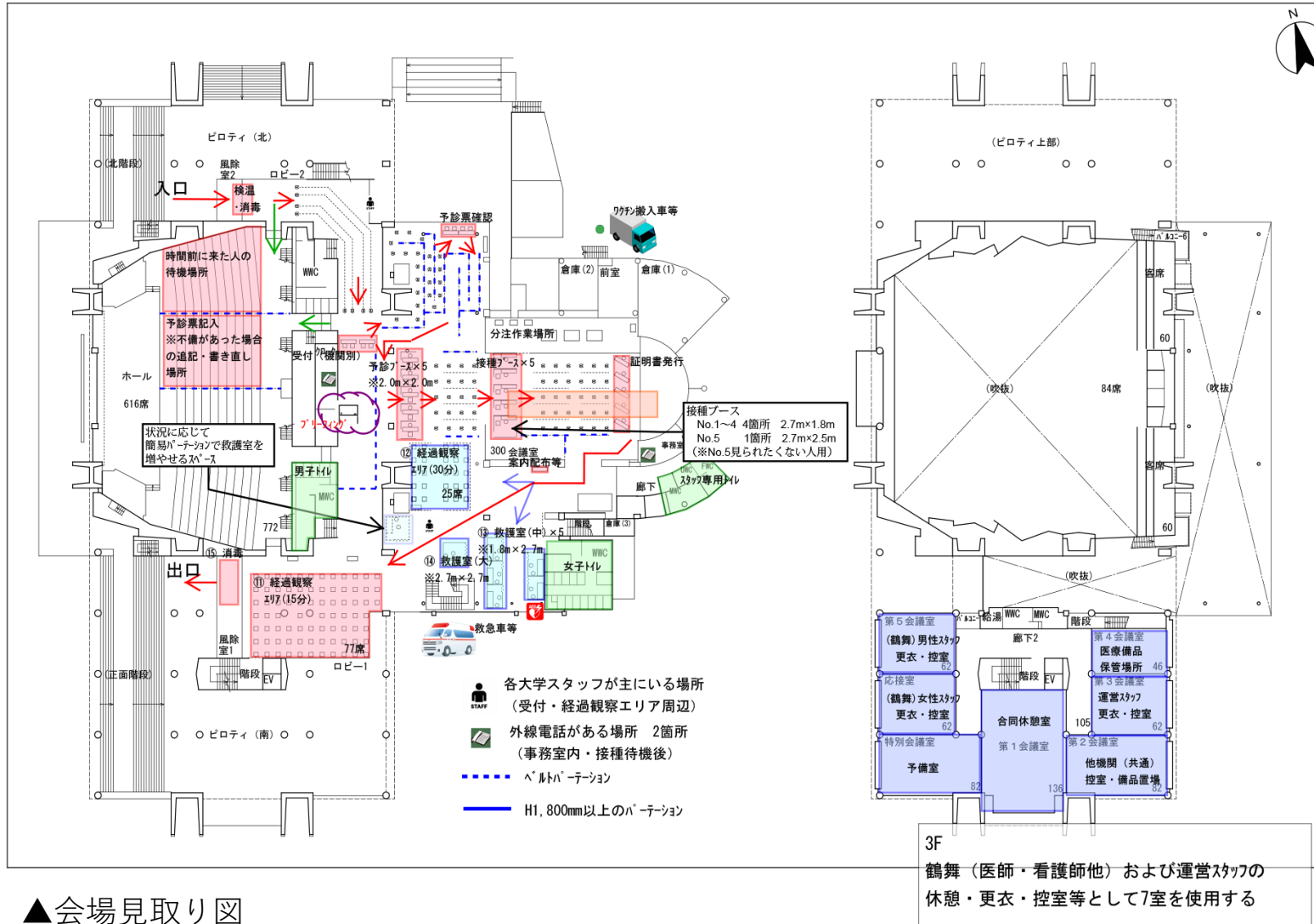
名古屋大学医学部附属病院（名大病院） 概要

- ・所在地：名古屋市昭和区鶴舞65
- ・2021年 創基150周年
- ・診療科数：35
- ・職員数：2,805人
- ・病床数：1,080床
- ・外来患者数：549,303人
- ・入院患者数：24,190人
- ・手術件数：9,267件

（令和元年度統計）

接種会場

名古屋大学豊田講堂と直結するシンポジオンを使用。



名古屋大学豊田講堂 概要

- ・所在地：名古屋市千種区不老町
- ・竣工：1960年（2011年 国の登録有形文化財に登録）
- ・設計者：槇文彦
- ・敷地面積：381,096㎡
- ・建物面積：4,649.50㎡
- ・床面積：8,643.36㎡
- ・講堂座席数：1,206

▲会場見取り図

接種会場の様子

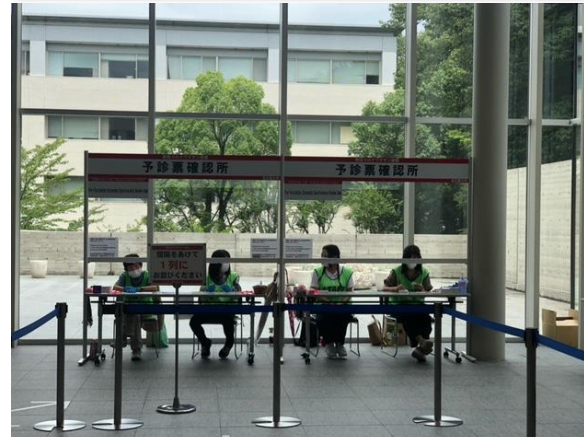
①入口（消毒）



②受付・検温 （大学毎にレーンを区分）



③予診票確認



④予診所 （4ブース+予備1ブース）



⑤接種所（5ブース）



⑥証明書発行・予診票回収



⑦待機観察エリア （待機15分と30分を区分）



⑧救護室（8ブース）



大学名	接種人数(見込)	備考
名古屋大学	12,939	学生の61%、教職員の27%が接種予定。(病院での医療従事者接種も含めれば学生65%、教職員61%)
中京大学	6,541	
南山大学	4,848	
名城大学	5,649	
名古屋工業大学	4,113	
豊田工業高等専門学校	364	
合 計	34,454	

※1回目接種終了時点(8月8日(日))の速報値

・迷走神経反射等で体調不良となる者が 1 %程度発生する。

- 倒れる者が多いのは、接種後の証明書発行エリアと経過観察エリア。
- 救護室の設置や仰臥位（ぎょうがい）で接種できるよう設備を整備。民間救急車も配置。

接種者数	救護人数（年代別内訳）	割合
34,454人	353人（10代/85人 20代/249人 30代/8人 40代/11人）	1.0%

・貴重なワクチンの廃棄は避けなければならない。

- モデルナのワクチンは1バイアル（瓶）10回分。開封すればその日に使い切る必要。
- 開封するペースは薬剤師と調整し、開けすぎて余らせることのないよう細心の注意を払った。
- 1回目接種時は10回未満の端数処理用の要員を確保し接種終了間際に残数分の人数を呼び込んだ。

・参加スタッフ全員がチームとして機能しなければならない。

- 医療従事者、参加大学事務スタッフ、委託業者の派遣スタッフなど初見の者の混成チーム。判断・指示の明確化、マニュアル作成、ブリーフィング・日報記録による情報・課題共有等は必須。
- 大学職員の負担軽減（特に予約管理、会場事務運営、VRS入力、接種券回収と補助金等申請業務）のためにも業務委託は有効。

ご静聴ありがとうございました。

